

令和6年第7回教育委員会議事録

令和6年4月24日（水）

杉並区教育委員会

教育委員会議事録

日 時 令和6年4月24日（水）午後2時00分～午後2時32分

場 所 教育委員会室

出席委員 教育長 渋谷 正宏 委員 對馬 初音

委員 久保田 福美 委員 伊井 希志子

委員 前田 小百合

出席説明員 事務局次長 岡本 勝実 教育政策担当部長 松尾 了
生涯学習担当部長 教育人事企画課長

学校整備・支援担当部長 高山 靖 庶務課長 渡邊 秀則
学校ICT担当課長

学務課長 森 令子 特別支援教育課長 河合 義人
就学前教育支援センター所長

学校支援課長 中曾根 聡 学校整備課長 安川 卓弘

学校整備担当課長 鈴木 伸建 生涯学習推進課長 本橋 宏己

済美教育センター長 古林 香苗 済美教育センター 加藤 則之
統括指導主事

済美教育センター 清水 里恵 中央図書館長 出保 裕次
統括指導主事

事務局職員 庶務係長 佐藤 守 法規担当係長 中野 雄介

担当書記 松尾 菜美子

傍聴者 3名

会議に付した事件

(議案)

議案第32号 令和6年度における「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」の実施について

議案第33号 杉並区いじめ問題対策委員会委員の委嘱について

(報告事項)

(1) 学校運営協議会委員の任命について

(2) 令和5年度「杉並区中学生小笠原自然体験交流事業」の実施報告について

目次

議案

- 議案第32号 令和6年度における「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」の実施について・・・・・・・・・・ 4
- 議案第33号 杉並区いじめ問題対策委員会委員の委嘱について・・・・・・・・・・ 6

報告事項

- (1) 学校運営協議会委員の任命について・・・・・・・・・・ 7
- (2) 令和5年度「杉並区中学生小笠原自然体験交流事業」
の実施報告について・・・・・・・・・・ 7

教育長 定刻になりましたので、ただいまから令和6年第7回杉並区教育委員会定例会を開催いたします。

それでは、本日の会議について事務局より説明をお願いいたします。

庶務課長 本日の議事録の署名委員につきましては、教育長より事前に久保田委員との指名がございましたのでよろしくをお願いいたします。

本日の議事日程についてでございますが、議案2件、報告事項2件を予定しております。以上でございます。

教育長 それでは、本日の議事に入ります。事務局から説明をお願いいたします。

庶務課長 それでは、日程第1、議案第32号「令和6年度における『教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価』の実施について」を上程いたします。

私からご説明を申し上げます。

それでは資料の方をご覧ください。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定でございますが、これに基づきまして令和5年度分の教育に関する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を例年のおり行います。

1番の「目的等」についてでございますが、点検・評価は教育ビジョン2022の教育行政の取組を具体化した杉並区の教育ビジョン2022推進計画につきまして、その取組状況を広く区民に公表すること、併せて効果的な教育行政の推進に資するということを目的としておりまして、法令に基づき点検を行うものです。なお、これにつきましては区議会の方に提出を予定しているものでございます。

2番「実施方法」でございます。推進計画に基づく全ての計画事業、現在39事業ございますが、それについて行政評価を活用いたしまして評価する。この内容につきましては昨年、国の通知で考え方が少し整理されて、全般的な評価の方法を見直して分かりやすく簡潔にということになってございます。(2)に記載しておりますように、教育各課で、昨年度重点的に取り組んだ取組について作成をしていくのですが、これは過去2年間行っておりました、3つの教育分野を、学びと成長、人材と組織など4つの領域の視点で作成をする方法を改めました。4つの領域の考え方が難しいということと、一部の課に負担が偏ってしまうということでありましたので、各課が作成しやすいような見直しを図ってい

く予定でございます。

最後3の「スケジュール」でございますけれども、各課において点検・評価を行う期間、これについては行政評価が別途行われますので、それと提出期間を少し遅らせることで二度手間がなく同時にできると考えております。それが5月から7月。8月の時点で学識経験者の方、今年も2名の方を今、予定しておりました人選を進めておりますが、その方たちと各課とで意見交換などを行った上で最終的な報告書（案）の作成が10月、ということで教育委員会の方にも報告を上げた上、文教委員会の方に報告をするというのでやってまいりたいと思います。また併せてホームページなどにも掲載をしてみたいと思います。

今回、教育委員会の様々な不適切な事案に対しての教育委員会の抜本的見直しに向けて、学識経験者の方々の意見もお聞きできればと考えているところでございます。私からの説明は以上でございます。議案の朗読は省略させていただきます。

何かご質問とか確認がございましたらお願いいたします。どうぞ、久保田委員。

久保田委員 評価者についてお聞きします。今、人選中というお話がありました。現時点ではまだ決まっていないということではよろしいでしょうか。

庶務課長 昨年やっていただいた先生と、ずっと同じ方というのものがかというのがあるので、そういった専門的な分野いろいろ考えた上で今、人選の方を行っている段階でございます。

ほかにはいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

伊井委員 すみません。久保田委員に続けての、関連したことですが、お二人というのは、一人ではやはり偏るし、お二人という理由でお二人になっているのでしょうか。

庶務課長 そうですね。幅広くいろいろ学識のある方にお聞きするというので、少し分野を分けてといいますか。得意な分野、例えば教育の専門的なところであっても、生涯学習だとかそういったものを分かっている先生ということで、今までもそういった形で人選の方を進めてきたところでございます。

伊井委員 お二人という形は変わらないという解釈でよろしいでしょうか。

庶務課長 はい、そのとおりでございます。

ほかにはいかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは特に意見ございませんので教育長、議案の採決をお願いいたします。

教育長 それでは議案の採決を行います。議案第32号につきましては原案のとおり可決して異議ございませんか。

(「異議なし」の声)

教育長 それでは、異議がございませんので、議案第32号につきましては原案のとおり可決といたします。

庶務課長 続きまして日程第2、議案第33号「杉並区いじめ問題対策委員会委員の委嘱について」を上程いたします。

引き続き、私の方からご説明を申し上げます。

本議案につきましては杉並区いじめ問題対策委員会の調査審議機能を強化するため、「杉並区いじめ問題対策委員会条例」に基づき、新たに委員を委嘱するものでございます。

参考資料をご覧ください。

明日、25日付けで杉並区議会臨時会におきましてこの委員増員に係る委員報酬の補正予算が審議されます。その結果に基づきまして新たに委嘱する2名の任期について、令和6年5月1日から令和8年4月30日までの2年間として予定をしているものでございます。

それぞれの区分、氏名、役職、住所等については記載しておりますとおりでございます。

既に委嘱している5名の委員と合わせまして、委員については合計7名ということになってございます。

以上で説明を終わります。議案の朗読は省略をさせていただきます。

それでは、ただいまの説明内容につきまして何か確認、ご質問がございましたらお願いいたします。前田委員。

前田委員 新しく2名の方が追加ということなのですが、弁護士の方もいろいろ専門分野があると思うのですが、この方たちはどのような専門分野でどのようなところをお手伝いいただきたいというか、特に専門的なところとして皆さんが「この方に」とお願いしたと思うのですが、そこについて教えてください。

庶務課長 今回の弁護士の二人につきましては杉並法曹会、弁護士の方で構成される法曹会を通じてご推薦を頂いた方でございます。実際に

私、この二人とお会いをいたしまして、杉並区在住で、大変区の教育だとかいじめ問題にも関心、意欲もおありで、いじめ問題対策委員会、非常にタイトなスケジュールでの業務でございますが、「是非杉並区がいじめ対策に貢献できれば」ということをご了解を頂いているところです。特に専門的な分野まではちょっと深掘りして確認しておりませんが、子どもの教育に非常に関心があってそういったいじめ問題に対してご提言も頂けるだろうということで、今回はお願いしたところでございます。

前田委員 分かりました。では職務として十分にやっていただける方と判断されたということですね。分かりました。ありがとうございます。

庶務課長 ほかにいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、特にご意見ございませんので教育長、議案の採決をお願いいたします。

教育長 それでは議案の採決を行います。議案第33号につきましては原案のとおり可決して異議ございませんか。

(「異議なし」の声)

教育長 それでは、異議がございませんので、議案第33号につきましては原案のとおり可決といたします。

それでは、続きまして報告事項の聴取を行いますので、事務局から説明をお願いいたします。

庶務課長 それでは、報告事項1番「学校運営協議会委員の任命について」、学校支援課長からご説明を申し上げます。

学校支援課長 「学校運営協議会委員の任命について」、学校支援課よりご報告させていただきます。

令和6年5月1日任命ということで、任命期間は5月1日から令和8年4月30日までということで、表にありますように15校、計16名の方を任命いたします。私からは以上です。

庶務課長 それでは、ただいまの説明につきまして何かご意見、ご質問がありましたらお願いいたします。いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、ないようでございますので報告事項1番についての質疑は終了いたします。

続きまして、報告事項2番「令和5年度『杉並区中学生小笠原自然体

験交流事業』の実施報告について」、済美教育センター統括指導主事からご説明を申し上げます。

統括指導主事（加藤） 済美教育センター統括指導主事です。私からは「令和5年度『杉並区中学生小笠原自然体験交流事業』の実施報告について」ご説明いたします。

本事業は杉並区次世代育成基金を活用する事業でございます。世界自然遺産である小笠原の貴重な自然体験や自然に育まれた文化を通して子どもたちの豊かな人間性を育むことと、自然体験を通じ、各学校、地域における環境保全活動の推進役となる世界的視野で持続可能な社会を考えることができる生徒を育成することを目的としまして、令和6年3月21日から26日の期間に5泊6日を実施いたしました。

派遣者は区内在住中学生第1学年から第3学年までの27名でございました。また引率者につきましては資料にありますメンバー、計6名がまいりました。

内容を簡単ではありますがご説明いたします。

小笠原についての興味・関心を高めて知識・理解を深める事前学習を3回行いました。現地におきましては様々な自然体験ですとか、また父島の方々との体験を通じた交流、そして事前学習で設定した課題の追究等、充実した毎日を過ごすことができました。

今回は全日程とても天候がよく、計画どおりに実施することができた点も非常に幸いございました。

最後に、今後の取組といたしましては、各自及び各グループで設定した課題に対する学習内容や成果についてまとめる事後学習会を3回実施いたします。そしてその内容を7月27日土曜日の成果報告会にて発表いたします。

その後は各生徒が学校や地域での環境保全活動に積極的に関わり、成果を還元するとともに、各所属校において成果を発表していく予定でございます。私からは以上です。

庶務課長 それでは、ただいまの説明につきまして何かご意見、ご質問ございましたらお願いいたします。久保田委員。

久保田委員 ご報告ありがとうございます。引率者の皆様、そして済美教育センター、次世代育成基金関係者の皆様には改めて感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

私も今回同行したのですが、引率の看護師さんに聞きましたが、いろいろな学校の修学旅行とか移動教室も行ってらっしゃる本当によくやってくださった方なのですが、こんなに何もなかったというか、そういうのは珍しいとおっしゃっていたのです。それくらい子どもたち皆、元気にやってきたというのが本当によかったなと思っています。お天気にも恵まれましたし、本当に現地でのいい体験交流ができたなと思っていますところす。

竹芝栈橋に帰ってきた時、やはり子どもたちが一回り大きく成長したなということとか、あるいは日焼けした姿、それを見まして改めて子どもたちの心に深く刻み込まれた体験や感動、その密度の濃さを感じた次第です。

小笠原の自然や文化、歴史、人々から本当にたくさんのことを学ぶことができたなと今、思っているところす。

海の体験では鯨が大きく白い噴気を上げたり、また尾びれや背びれを見せたり、そのたびに子どもたちから歓声が上がって。また無人島に上陸できて、その上陸して見渡した瞬間の息を飲む絶景というか。そしてエメラルドグリーンの海の色、サンゴの白砂の心地よさ。本当に子どもたちは満喫していたなと思っています。

シュノーケリングでも大小様々な、色とりどりのたくさんの魚たちに出会うことができました。

島内のいろいろなところを回った時もグループごとに分かれてガイドさんの案内で行ってきたのですが、やはり子どもたちは、環境とかあるいは固有種を守ることの大切さ、改めて学ぶことができたなと思っています。その時にガイドさんが子どもたちに突然質問をされていて、「あなたたちは小笠原に何の目的で来たの」と。その時に派遣生の一人がこんなふうに答えていたのですね。「今はネットで小笠原のことは調べてよく分かるけど、実際に自分の目で見るのが大切だ」と言うのですね。私も全くそのとおりだと思いました。今のSNSとかAI時代であればこそなおさら実際に見て、触れて、そして感じて、気付き、考えていく。そのことがとても重要であると改めて思いました。

島の人たちとの交流の中でも、フラダンスは中学生たちの交流の場面だったのですが、思いがけないアンコールがあったりとか、それが終わってからも自然な交流がずっと続いていたりとか、そういった姿を見て

いた時、また最終日、船が島から離れる時、島の人たちの盛大なお見送りに感動して涙したりとか、そういった姿を見ていて、やはり現地での今回の4日間の体験交流がかけがえのないすばらしいものであったなと私も思いました。

派遣生の皆さんには今回の貴重な体験をこれからの事後学習とかまとめ、さらには各学校での発表とか、7月の成果報告発表会に生かしていくこと、併せて環境リーダーとしての活躍等々、これからの取組に大いに期待したいと思っております。どうぞよろしく申し上げます。ありがとうございました。

庶務課長 ほかにはいかがでしょうか。對馬委員。

對馬委員 ご報告ありがとうございます。今のお話聞いていても小笠原の風景が浮かんできて、心躍るような体験をしてきたのだろうと思います。とても不思議なもので、絶対にここには感じられない、人生を変えるくらいの体験を恐らくしてきたのだろうと思います。私が随行した時も向こうでビーチクリーニングをして、その経験があったので私、ちょっと余談かもしれませんが、春に下田の方に行った時に、ホテルでビーチクリーニングができると書いてあって、思わずやろうかと思ったんです。ビーチに出たらまだとてもきれいだったのでやらなかったのですが。そういうことに多分行っていなかったら気付かなかったかもしれない。私自身も行った時に気付けたので、恐らく中学生もそうなのだろうと。

帰ってきてからも、例えば小笠原関係の番組があったら「おっ」と思ったり、本を読んだりSNSとか今でも見ている、いろいろなことを感じるようなとても視野も広がったと思います。恐らく子どもたちもそうだと思います。あとやはり前から言われていることですが、「この体験をした子たちが大学生くらいになってリーダー的に帰ってきてくれるといいよね」といつも言っていたのですが、その関わりに関しては、今回は何かもしあったのなら、どの事前学習に来てくれたとか、そんなことがあったのかどうか。もしあれば教えていただけますか。

統括指導主事（加藤） 今、委員からお話いただきましたように、例年でしたらこれまでの経験者を事前学習3回の中でお呼びして、感動ですとか体験したお話を直接子どもたちにさせていただいておりました。

今年度も実は計画段階ではそうしたスケジュールで調整していたのですが、どうしてもこれまでの経験者の皆様とご都合がつかず、断念して、それで委託している事業者の方から、実際に小笠原にいらっしゃる方から直接お話を聞いたという、そういった経緯がございます。

對馬委員 ありがとうございます。できるだけやはりそういう子たちも是非関わってもらいたいですし、それから一旦、もしかしたら子どもたち同士はLINEとかで関わっているのかもしれないのですが、是非そういう子たちが、その後どういうふうに生きていっているのだろうか、ではないけれども、「環境にこんな興味が出たよ」とか、「こんな活動を今しているよ」とかそういうのが見えてきたり、何か還元してくれるようなことがあったりするととてもいいなと思います。是非この活動を本当に続けてほしいなと思っていますので、小笠原という特別なところに行くということだけではなくて、やはりほかの学校の子たちと関わることで、ふだんの関わっている友達と違う、新しい視野、友達ができる、世界が広がるとかそういった意味でも非常に大事なことだと思うのです。選考はありますけれども、選考は等しく誰でも受けることができるわけですから、是非そこを生かして多くの子どもたちに貴重な体験をしてもらって、それぞれの個々の人生の中で継続して還元してもらえるといいなと思っています。よろしくお願ひします。

庶務課長 ほかにはいかがでしょう。伊井委員。

伊井委員 お二人のご意見に賛同するところですが、私も伺った時に、やはり様々な本当に目からうろここというか、本当に世界が変わるような経験だったなと思っています。

お子さん方がやはり行く前と帰ってきた時に表情も何もかも、一つも二つも成長している姿を実際に拝見したので、本当に意味のある事業だなと思っているのですが、こちらの方に書いてありました発表とか、共有するということが学校でも発表がある。成果報告会もありますけど、そのほかに発表の場とか、質問会ではないですけども、行ってきたことを共有するような場について、もう少し詳しく教えていただけたらと思います。

統括指導主事（加藤） 7月27日、先ほどご報告申し上げました。まず成果報告会がございます。そちらには参加した生徒の保護者の方ですとか、あとは今回のこの次世代育成基金の、協力して基金にご協力い

ただいた皆様ですとか、あとはそれぞれの学校の教職員、そうした方に来ていただく予定でございます。地域の皆様に対しては、こちら成果報告書という形で報告書をまとめますので、そちらをお読みいただけるような場所に置かせていただきまして、子どもたちが一生懸命、今、学校の勉強と並行してまとめてくれていまして、我々も中身を何度も確認させていただいていいものに、本当に感動ですとか、体験してきたこと、またそうした思いだけではなくやはり子どもたち、課題を持ってテーマを学ぶために小笠原に行ってまいりましたので、そうした学習面についても今、様々な情報を精査しながらまとめているところでございますので、まとめたものを是非お読みいただけるように進めてまいりたいと思っております。

伊井委員 ありがとうございます。いろいろとご苦勞をおかけしていると思いますが、学校では必ず発表の場はあるのですかね。というのは、自分が一緒に同行した時に、地域の子ども活動促進事業の場で、ちょっと発表する時間はなかったのですけれども、自分がやったものに関して模造紙の形でまとめてということをやったお子さんがいるので、発表という形も様々にあるのかなと思ってお伺いいたしました。そういった意味でも、広い形でご検討いただけたらいいのかなと思います。よろしく願いいたします。

統括指導主事（加藤） ありがとうございます。全校、我々も様々な、それぞれの学校でどこまで発表できているか、全校、全参加の生徒を確認できているわけではないのですが、そうした機会を学校ですとか、また地域の場で設けていただけるように働きかけてまいります。

庶務課長 ほかにいかがでしょうか。前田委員。

前田委員 小笠原の様子、すごい皆さんのお話を聞いてすごく私も関心が出たところですが、今、目的のところを改めて読みますと、「世界的視野で持続可能な社会を考えること」、やはりリーダーを作っているというのが今回のこの目的だと思っていて、そこを発表するだけでなく、やはりその先にある世界的リーダーというところですよ。また、小笠原は世界遺産になっている場所でもあるので、日本の中でここに行って、そこに関心がある本当にいろいろな、都内だけではなくていろいろな人とつながれるような、何かそういうものになっていくと本当にこの事業がもっともっと際立ったりするのかなと思っ

たりしています。さっき對馬委員からもありましたけれども、その後の活動がすごく大事だなということと、これも今10回、11回を重ねているということなので10年前にも参加された方がいらっしゃるということだと思います。育成基金があるとは思いますが、区の事業として、これだけ校長先生や職員が一緒に行ったりということで、周りで、区でバックアップしていることだと思うので、その成果をもう少し、「よかったな」というだけではなくて長期的に見ていただくと、この事業の継続性というのを今後も考えていけるのかなと思っております。先ほどコストの話もしましたけれども、お金等含め検討いただいてよりつなげていただけるといいかなと思っております。

あともう一つが、杉並区の「教育ビジョン」があると思うのですが、この活動と教育ビジョンがどこにつながるのかなというのがもう少し見えてくると、例えばこれが要るか要らないかという話というのはよく出てくると思うのですが、「やはりここにつながるのだよ」という道筋が見えれば、「では、これは必要だよね」という話になってくると思うので、何かそこら辺も目的のところではいろいろなお話ができることこの事業がよりよいものになるのかなと思っておりました。

統括指導主事（加藤） ありがとうございます。先ほどご報告させていただきましたように、今年度内でそれぞれの学校ですとか、また機会があれば地域で発表させていただく、そうしたところについてはこれまでも済美教育センターですとか、教育委員会の職員が子どもたちの取組、また学校での取組を見守ってきたという経緯がございますが、その後はどうつなげていくか。「広報すぎなみ」で数年に1度くらい、区内の中学校を卒業された方がこの経験したことを体験談のような形でインタビューされるような、そういった記事を目にすることがありますので、その関わってくれた生徒たちが今後どうやって、どんなふうになっていくのか、どう教育委員会として関わっていけるのかというのは研究してまいりたいと思っております。

また、最後に頂きました教育ビジョンとのつながり、委員がおっしゃるとおりだと思います。基本的に例年この目的で事業を実施していくところではございますが、2022年にできた教育ビジョンですので、そこの関連性というのを再度見つめ直して、今後いい事業にできるように努めてまいりたいと思います。

前田委員 ありがとうございます。すみません、あと追加で先ほど對馬委員からもあったのですけれども、経験した方がこれを経て、例えば「あれがよかった」と振り返るだけではなくて、こういう環境に関心を持ったから、大学の授業でこういう授業を取って、こういうことが分かったとか、自分たちが社会を変えていくような、こういう仕事観を持つようになったとか、仕事の中で何か役立っているとか、そういう話を経験者として話してもらおう。さっき「事前学習に来ていただけている」とあったと思うのですけれども、その話が入ると大分違うのかなと思っていて、そういう先輩を見ていれば、きっと参加した子もそういう観点で今後も見えていくなと思っているので、是非そこも行っている中で、あなたたちはここでやったことを体感するだけではなくて、これをあなたたちが次に社会に還元していくのだよということを投げかけながら、もう種まきをしていったほうがいいのかと思っていますので、そういうところも見据えて是非進めていただければと思います。お願いします。

統括指導主事（加藤） ありがとうございます。これまででしたら集合していただかないとお話を聞かせていただけなかった、そうした時代でしたけれども、今はやはりオンラインで複数の方にお話しいただくことも、機会が少ない事前学習会ですが、その中でも可能かなと思うところがございますので考えてまいりたいと思います。

前田委員 多分参加者を募集する際に、それが「できたら」というよりは「そこもあるのだよ」ということも含めてお子さんに参加してもらおうと、「自分はここまでの役目があるのだな」と思っているのと、オプションで「できたら」みたいな気持ちで参加するのとでは大分違うと思うので、そこも見据えて是非お声がけいただければと思います。

庶務課長 ほかにご意見はいかがでしょうか。よろしいでしょうか。それではないようでございますので、報告事項2番についての質疑は終わります。報告事項は以上でございます。

教育長 それでは、以上で本日予定しておりました日程は全て終了いたしました。庶務課長、連絡事項ございましたら、どうぞお願いします。

庶務課長 次回の教育委員会の開催予定でございますが、日程を変更させていただきまして5月15日水曜日、午後2時からを予定しております。どうぞよろしくお願いたします。以上でございます。

教育長 それでは、本日の教育委員会を閉会いたします。